

6回目の「英会話教室」を実施！～「体の部位や反対の言葉」をゲームや歌を通じて覚えました。～



10月19日(金)、6回目の「英会話教室」が実施されました。初めはあいさつも兼ねて、今までに習った英語の歌を歌いました。年長さんらしく元気いっぱい、歌声が遊戯室にこだまし、カルちゃん先生も少し驚いた様子です。歌に合わせたジェスチャーも体全体を使って、本当に楽しそうです。久しぶりの英会話教室ですが、しっかりと歌を覚えています。



次に、男女の代表(やりたいと手を挙げた子)が前に出て、「英語でのあいさつ、インタビュー」をカルちゃん先生としました。「名前、年齢、出身地、好きな色や動物」などを全員が笑顔で上手に答えます。スーちゃん先生が思わず、「すごく上手!」と言ってくれるほどの出来栄です。全員が終わると、「みんな100点。素晴らしい。」



という言葉いただきました。特に、カルちゃん先生が「アイ ライク モンキー」などと動物を言うと、「アイ ライク キャット」というように動物で答えることができました。今までの活動の成果だと感じました。

次に、先月の宿題である「反対の言葉」を覚える活動を行いました。「ピック⇄スモール」「ファースト⇄スロー」などの言葉を、歌に合わせて確認しました。ピックは腕をしっかりと伸ばし大きく、スモールは指先だけを使い小さく、というようにしっかりとジェスチャーを入れながら音楽に合わせて歌ってまいりました。



次はゲームです。6つの異なる色の帽子やモンスターが描かれているカードから、次に出されるカードでは1つの色が消されています。どの色が消されたかを英語で言い当てます。また、英語での答え方も覚えます。「ワン イエロー ハット」「ワン ブルー モンスター」などと答えます。全体でのゲームですが、一人ひとり真剣に大きな声で答えていました。



次は、体の部位を表す英語を身につける活動です。「頭、肩、膝、足の指」などから「顔の部位：目・鼻・耳・口」などの英語での言い方を教わり、それらが使われている英語の歌をジェスチャーを入れながら歌いました。(ヘッドでは手を頭に、ショルダーでは両手を肩に……など)



そして最後に行ったのは、「人体骨格の模型」を用いてのゲームです。男女に分かれて競い合います。カードに描いてある帽子の「色」を英語で言い当てるゲームで、早く言い当てた方が15の部位に分かれた骨格を1つずつ取ることができません。ゲームに勝って、早く人体の形につなぎ合わせた方の勝ちです。子どもたちは、少しでも早く答えようと真剣そのものです。だから、勝っても負けても大騒ぎです。色をしっかりと英語で言えるようになった事も驚きですが、「体がいくつに分かれている」という問いかけに対し、「ワン、ツー……イレブン……フィフティーン」というように、15までスムーズに英語で答えられたことが一番の驚きでした。前の学習が身についていると感じました。



【写真】(上から3段目まで)「ハロー、マイフレンド」など今まで習った歌を体全体を使って歌っています。真剣な眼差しに注目!

(4段目)「英語であいさつ・インタビュー」の一場面。ハロウィンの帽子がとても似合っています。

(5段目)身体の部位を表す英語を身につける活動。

(6段目)何色のモンスターがないのか、真剣に考えて!

(一番下)何色の帽子か、早いもの勝ち!焦って、間違った答えを思わず。ドンマイです。一生懸命な姿に感動しました!

